

114
A1303

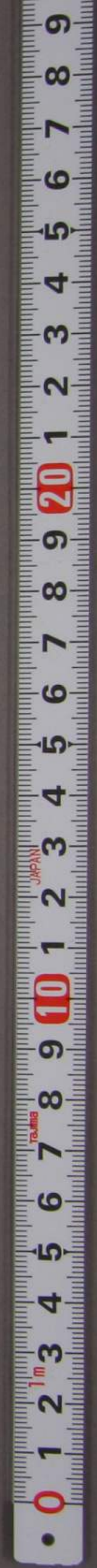
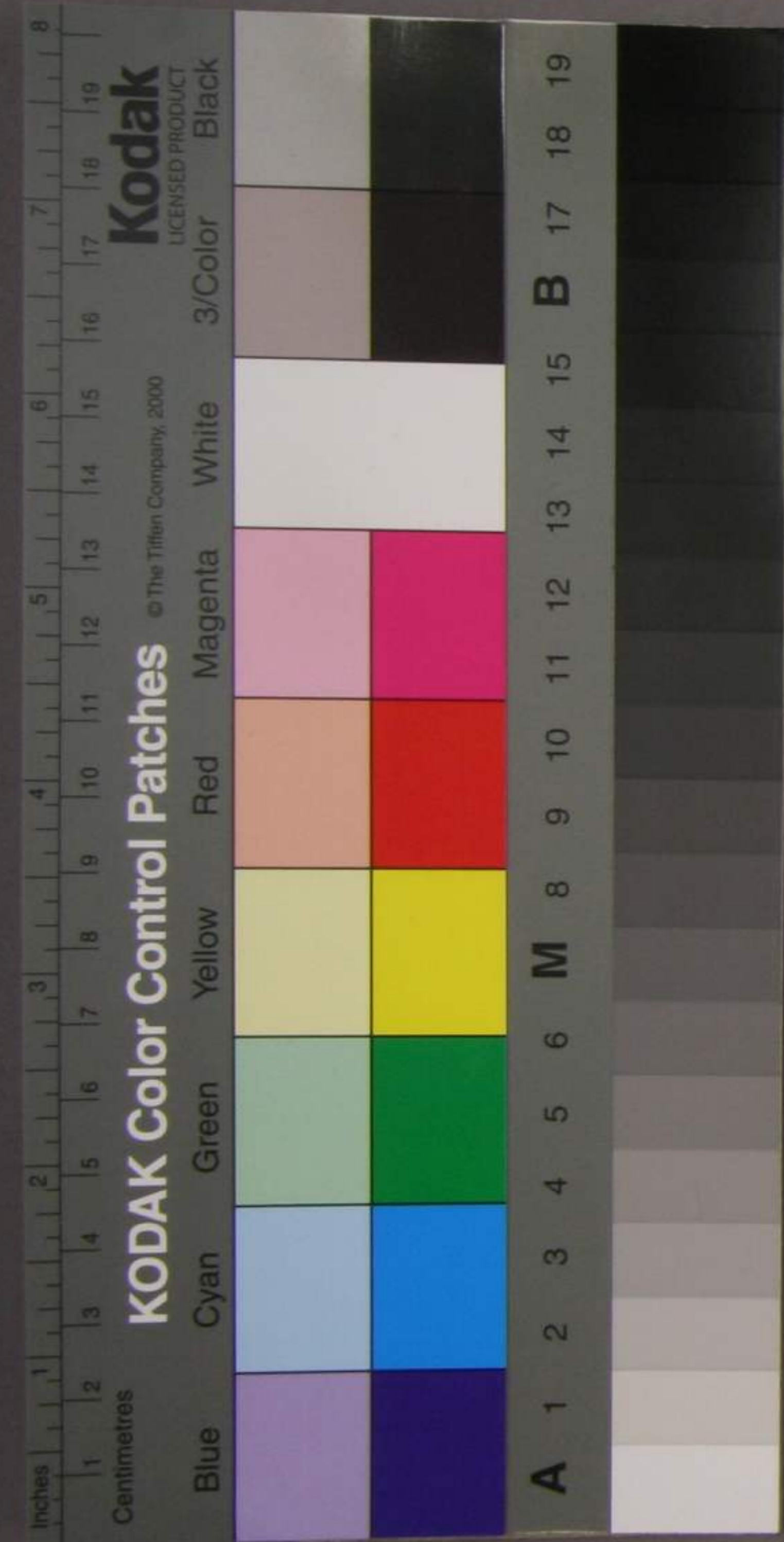


口述

青森縣中津輕郡旧弘前藩士族情況別
冊ヲ以テ傳述ノ通生活ノ一点ニ至テハ童
蒙ト曰シク今日マルヲ知テ明マルヲ知ラス窮
スレハ瀆スルハ人情ノ避クヘカラサルノ通弊人
士族同ヨリ活路ニ迷アリト余凡曰ジク人
類ニシテ血氣沛ハリ晝日文武ヲ以テ自
カラ任シ長テ智識ニ化シ民ノ上ニ任ヤ
ルコトレハ敵ニ率先者アリテ着年ノ注方ヲ
規画ニ依ルハク行フヘクノ針路ヲ示サニ遜
ニ開明ノ民タルマ疑ヒナシ後助今日ノ職ニ
六百宗戸ノ士族生計ニ困シ日々ニ膏酒ニ

大正十一年四月
大隈侯爵書

1837



趣クヲ目撃シ徒ニ机硯ノ塵ヲ掃ヒ獨リ
通常ノ事務ヲ理スルヲ以テ耳ハスル能ハス
夙ニ士族後流ノ最モ操範トナルヘキモノヲ
擇フニ致覺村伊達邦成カ降農園墾事
業ニ勝ルモノアラスト明治十二年秋官暇ヲ
借ヒ爰ヲ夏ヲテ親シク彼地ニ入り初メテ
其定况ヲ探付スルヲ得タリ降路七重試
験場ニ依テ自費農生徒名ヲ派遣
シ現業既シムル一ヶ年五秋之ヲ郡下ニ拓
キニ頭率墾ヲ以テ定地試墾ヤシニ收
田
聞墾ニハ現術者ノ必需品ヲ感ノ費シ本年
更ニ生徒兩名ヲ派遣ヤリ然レ農事ハ一區

廣大ナリ一二生徒ニノ能ク其テ
スハカラスト又強壯ノ者四名ヲ擇テ之ヲ派遣
ヤニ一ヲ依テセリ尚園牧地寒暖ノ度及堆
雪ノ浅深ヲ究メテ秋ニ至ル冬十二月廿日
御用済後ヲ以テ雪路ノ危険ヲ冒シ該地
ニ至ル居ル一ニ十日終ニ其不慮ナラヤルヲ知
ル抑モ墾者ノ身ヲ以テ已ニ墾多ノ艱難
ヲ蹈ミ又墾多ノ危険ト墾多ノ全費ヲ
消費スルハ全ク之千二百圓名ノ工段ニ率
先シ長年ノ遠征ヲ解キ各自生産ニ就ク
ノ大規模ヲ示シテ衷情ニ外ナラヤルナリ今
ヤ借地御許可相候候上ハ連々歸ル所

職ヲ解キ身ヲ玉難ノ地ニ置キ自カラ耕
牧ノ実益ニ長至可致仍ラ別冊ヲ以テ
士族ノ情況ヲ開陳致テ領ヲ御同察
アラレテ頭首再拜

明治十四年四月

青森縣中津森部長等表儀取